

# トヨタマシン

## お取扱いのしおり

CRAFTERIA

クラフテリア

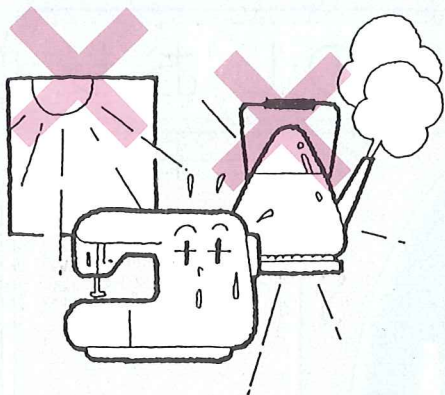
ご使用前に、このお取扱いのしおりを最後までお読みください。お読みになったあと必ず保存してください。

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ミシンを正しく、長く使っていただくために、ご使用前に必ずこの「お取扱いのしおり」をお読みください。

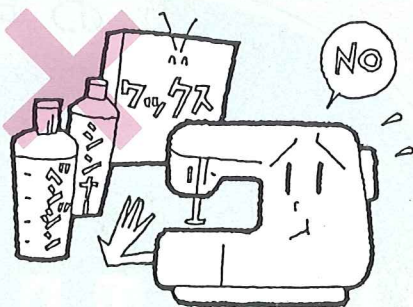
♥機種によってデザインが異なります。

## ■正しく、長く使っていただくために次のことを必ずお守りください。

★直射日光が当たる場所、湿気の多い場所には置かないでください。

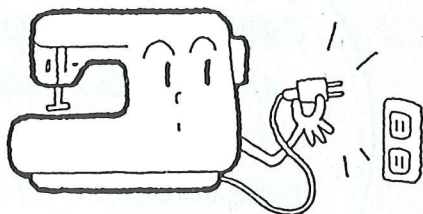


★ひどいよごれは、中性洗剤を溶かした湯（または水）に浸した布でふき、次に湯（または水）に浸した布で洗剤をふきとってください。



★ミシンを使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（何かのほずみで電源が入った場合危険です。）

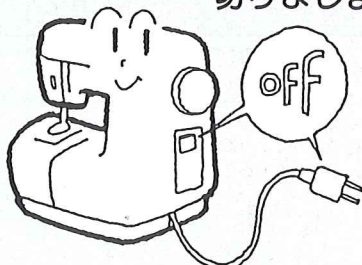
抜きましょう！



★針の取りかえは必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

★お手入れ、ランプの交換などは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

切りましょう！



抜きましょう！

# もくじ

●各部の名称	1
--------	---

●縫う前の知識	2~4
---------	-----

1. 各部のはたらき……………2・3
2. 押えの取りかえかた……………4
3. 針の取りかえかた……………4

●付属品の名称	5
---------	---

●模様を紹介	6
--------	---

●縫う準備をしましょう	7~10
-------------	------

1. 下糸を巻きましょう……………7・8
2. 上糸を掛けましょう……………9・10
- すべり板のはずしかたと、はめかた  
糸通し器の使いかた……………10
3. 下糸を引き出しましょう……………9・10
- ボビンのセット……………8

●縫ってみましょう①基本編	11~14
---------------	-------

1. 直線縫い……………11
- 針と糸と布地の関係……………12
- 正しい糸調子とは……………12
2. 返し縫い……………13
3. シグザグ縫い……………14

●縫ってみましょう②応用編	15~22
---------------	-------

1. ボタンホール……………15・16
2. ファスナーつけ……………17
3. 裁ち目かがり……………18
4. まつり縫い……………19
5. 強化縫い……………20
6. アップリケ……………21
7. シャーリング……………22

●ミシンのお手入れ	23~24
-----------	-------

1. 送り歯とカマのお手入れ……………23
2. 注油のしかた……………23
3. ボビンケースのはめかた……………24
4. ランプの交換……………24

●ミシンの調子が悪いとき	25~26
--------------	-------

●仕様	27
-----	----

●修理サービスについて	28
-------------	----

CRAFTERIA

クラフテリア

# の使いやすさは、コレ・

自動糸調子だから、薄地から厚地まで  
試し縫いなしで縫えます。（\*仕様によ  
り、ない機種もあります）

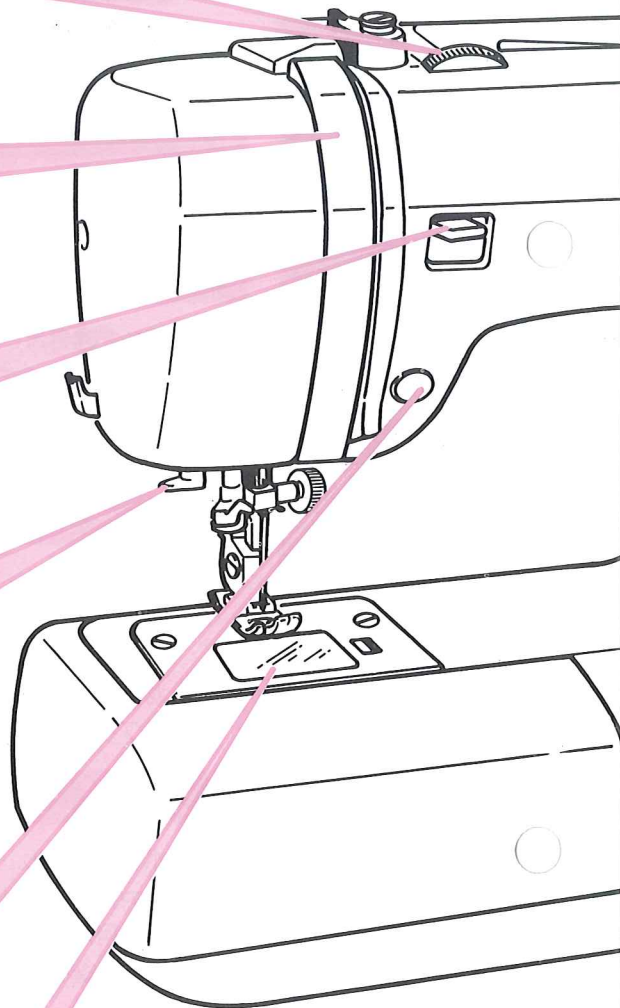
無意識天ビンだから、天ビンの位置に  
関係なく、糸が掛けられます。

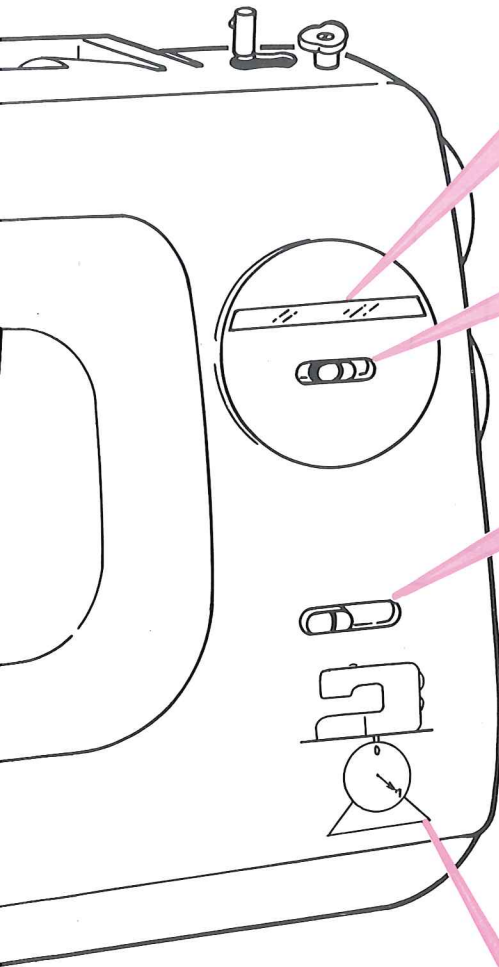
自動返し縫いだから、レバーでスタート  
できます。  
（電子音つきです）

糸通し器つきだから、針への糸通しが  
ラクにできます。

スタート/ストップは手元でできます。  
（電子音つきです）

透明なボビンカバーだから、下糸残量  
が見えます。取り外しはレバーでワン  
タッチでできます。





模様選択ダイヤルを回すと、模様表示窓の指針が動き、選んだ模様を確認できます。

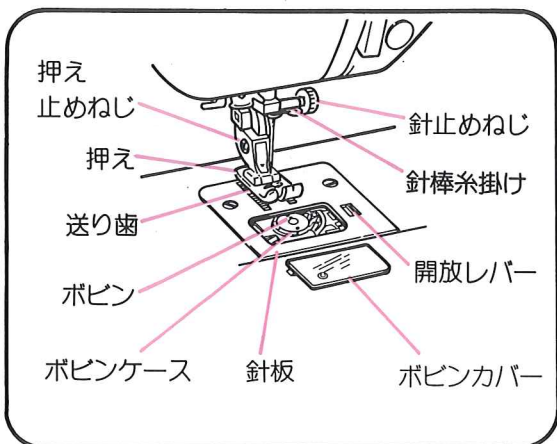
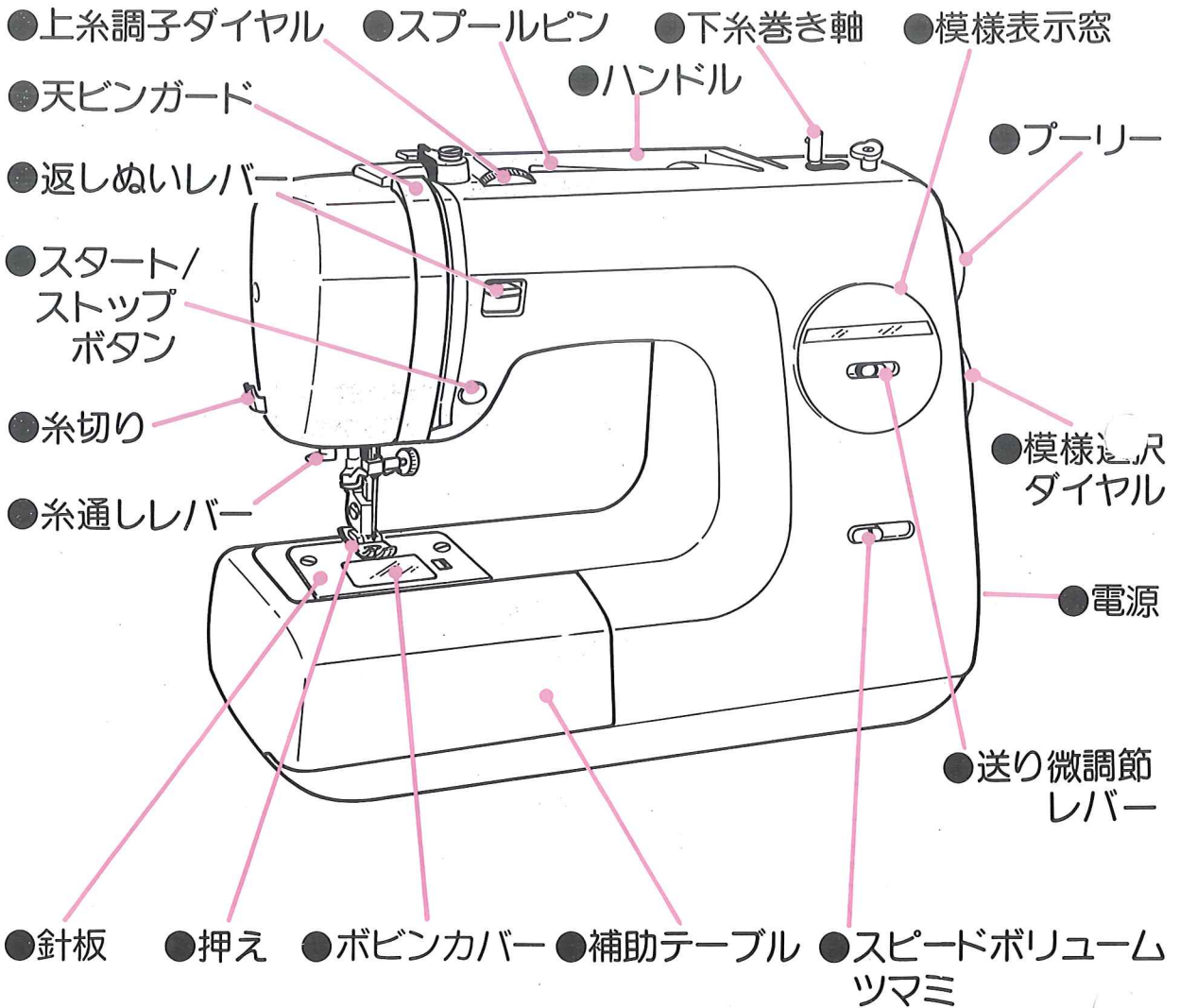
送りは標準位置で自動的にセットされます。送り微調節つきだから、あらめ、又はこまかめに調節できます。

スピードボリュームだから、好みのスピードで縫えます。

コードリールだから、ラクに収納できます。（\*仕様により、ない機種もあります。）

重さは7kgだから、片手で持ち運びができます。

# 各部の名称



# 縫う前の知識

## 1. 各部のはたらき

### ●プーリー



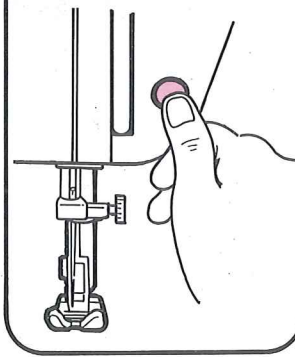
プーリーを回すと、針が上下します。

※ プーリーは、必ず手前側に回してください。

※ 模様選択する場合は、必ず針を上にしてください。

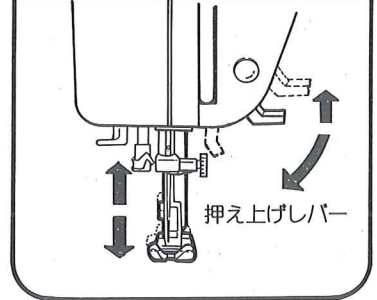
※ ミシン回転中に手を触れると危険です。

### ●スタート/ストップボタン



ミシンをスタートさせます。  
再度押すとストップします。

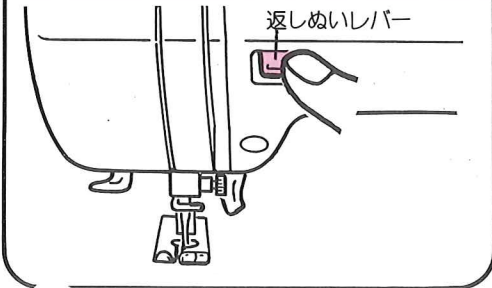
### ●押え上げレバー



上にあげると押えが上がります。  
下へ下げると押えは下がります。

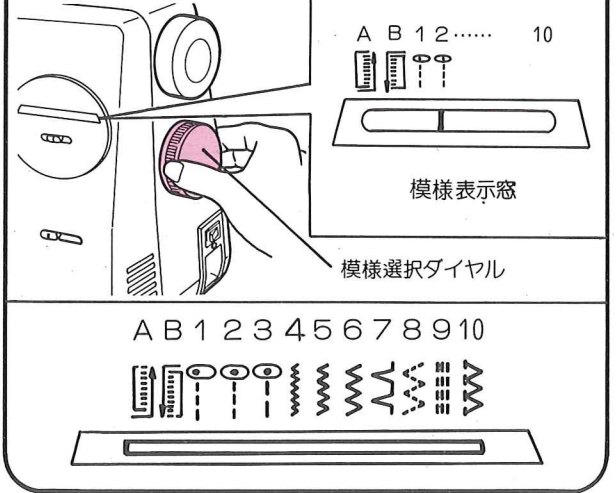
♥ 押えの交換や厚布をさし込むときは一番上まで上げます。

### ●返しぬいレバー



レバーを下げると、返しぬいをします。

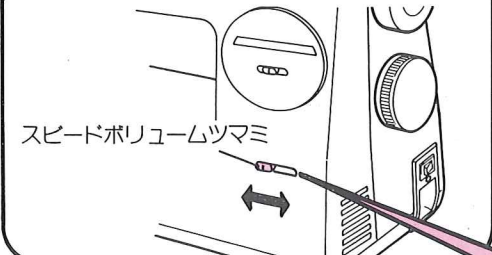
### ●模様選択ダイヤル



模様選択ダイヤルを回して、模様表示窓の指針、又は番号を縫いたい模様に合わせて。

■ 模様選択ダイヤルは、必ず針が上がっていることを確認してから回してください。針が曲がったり、折れたりする場合があります。

### ●スピードボリュームつまみ



ミシンになれるまで“ゆっくり”でお使いください。

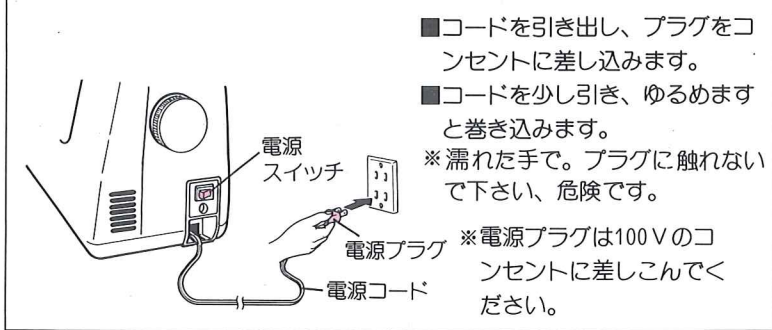
ゆっくり ● ● ● ● ● はやい



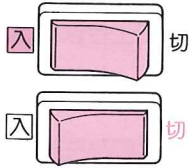
## ●電源

使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

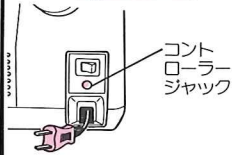
### 電源コード



### 電源スイッチ

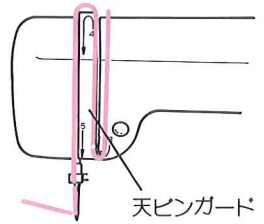


### コントローラージャック



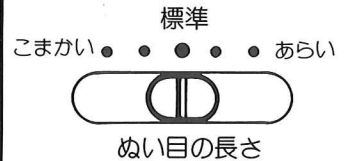
♥電子コントローラーがついていない機種は、販売店で買い求めください。

## ●無意識天ピン



天ピンは、天ピンガードの内にあり、天ピンがどの位置にあっても糸掛けができます。

## ●送り調整レバー



標準に合わせると、模様合った送りに、自動的にセットされますが、このレバーで、送りをこまかくしたり、あらくしたりできます。  
 (表示は機種によって異なります)

## ●上糸調子ダイヤル (自動糸調子)

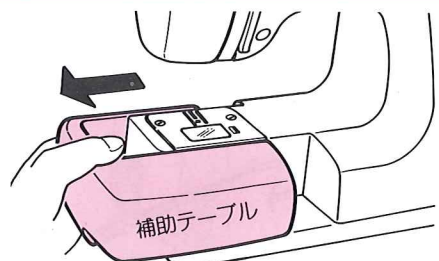
♥機種によって表示が異なります。



自動に、合わせておくと、布地や糸の種類に関係なく最適な糸調子で縫うことができます。

♥調節する場合は、P.12をごらんください。

## ●補助テーブル



♥筒物を縫うときは、矢印の方向にはずして使います。中に付属品が入っています。



## 2. 押えの取りかえかた ♥安全のため、電源スイッチを切りましょう。

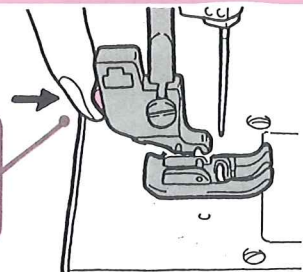
### ■取りはずしかた

1



プーリーを手前に回し針を上げ、押え上げレバーも上げます。

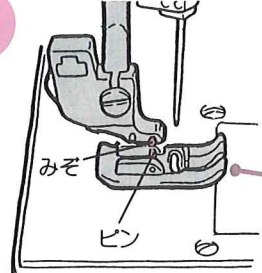
2



ボタンを押すとはずれます。

### ■取り付けかた

1



みぞ  
ピン

押えのピンをみぞの真下におきます。

2

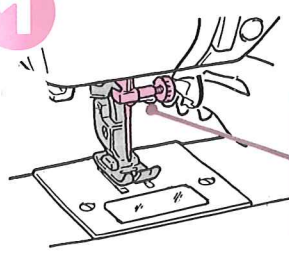


ゆっくりと押え上げレバーを下げると、はまります。

上手にはまらない場合は、押えの後ろ側にあるボタンを押します。

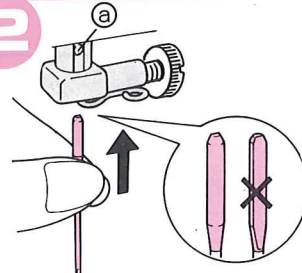
## 3. 針の取りかえかた ♥安全のため、電源スイッチを切りましょう！

1



プーリーを手前に回し、針がいちばん上より少し下がったところで止め、針止めネジをゆるめ、針を抜きとります。

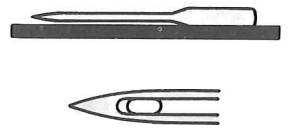



2



針の平らな面を向こう側に向け、ストッパー①に当たるまで差し込み、針止めネジをしっかりと締めつけます。

### 正しい針の選び方


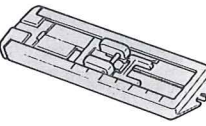

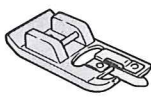
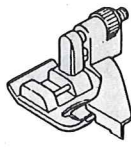

不良針を使いますと、よく縫えないばかりでなく、針板やカマにキズをつけたり針を折ったりします。

<p>○正しい針</p> 	<p>×不良針</p>    <p>針先がつぶれている 針先が曲がっている</p>
---	---

# 付属品の名称

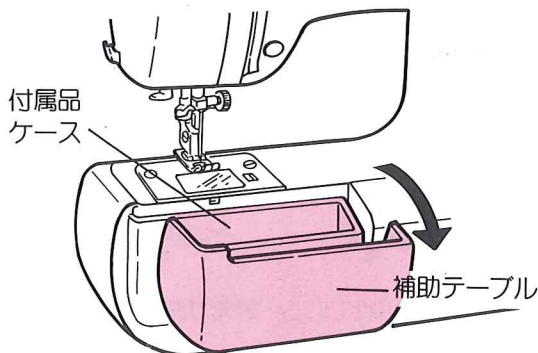
○内の数字はその付属品を使用しているページです。


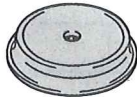
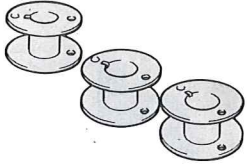
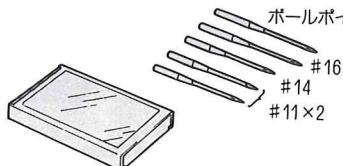

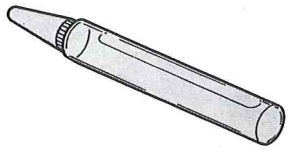
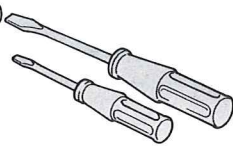
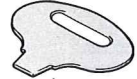
## ●押え ■押えの交換はP.4をご覧ください。

A	<p>ジグザグ押え ⑭ (本体にセット)</p> 
B	<p>ボタンホール押え ⑮</p> 
C	<p>ファスナー押え ⑰</p> 
D	<p>裁ち目かがり押え ⑱</p> 
E	<p>まつり縫い押え ⑲ *仕様により、無い機種も あります。</p> 
F	<p>テフロン押え *仕様により、無い機種も あります。 ♥ ピニールコーティングした布などを縫う場合 に使うと、布送りガスムーズです。</p> 

## ●補助テーブル

付属品は補助テーブルの中に入っています。

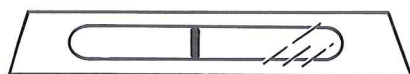


<p>リッパー ⑲</p> 
<p>スプールキャップ ⑺</p> 
<p>ボビン ⑺ 「ボビンは専用の プラスチックボビン をお使い下さい。」</p> 
<p>針 ④</p> <p>ボールポイント針 #16 #14 #11×2</p> 
<p>ブラシ ⑳</p> 
<p>油 ㉓</p> 
<p>ドライバー ㉔</p> 
<p>針板ドライバー ㉔</p> 

# 模様紹介

■ 模様を縫う前に、押えを確認してください。

■ 模様選択ダイヤルを回し、縫いたい模様の位置に、



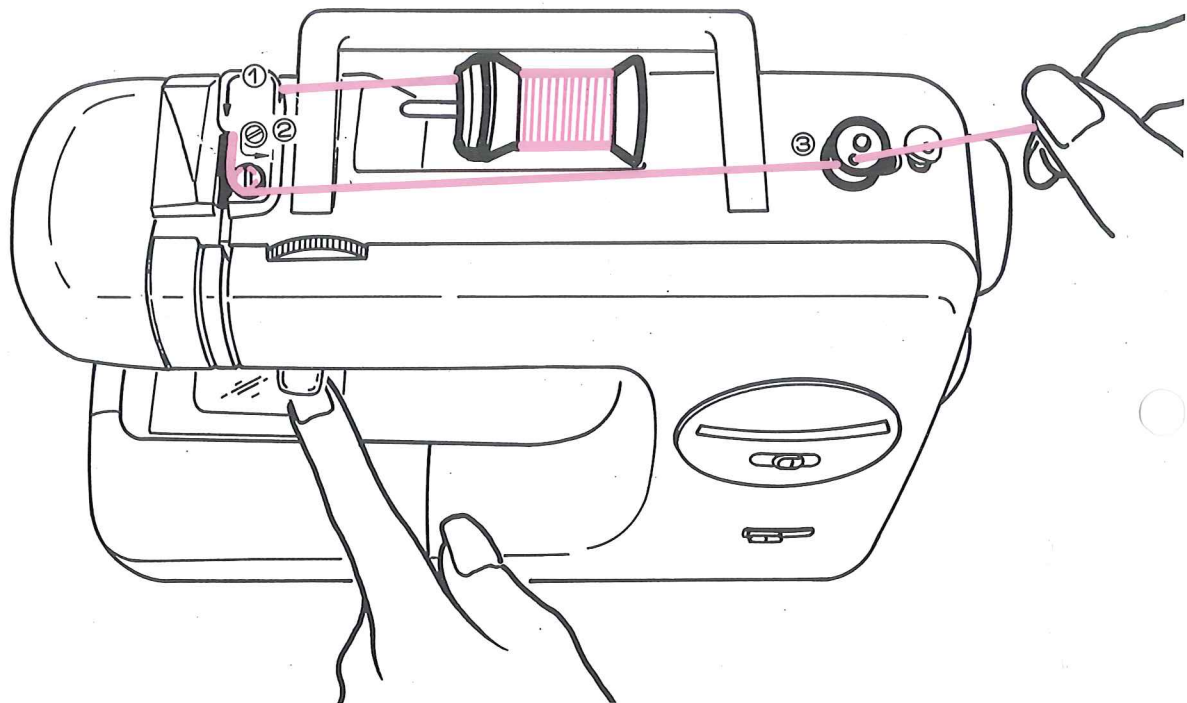
の、マークを合わせます。

※機種によって、番号表示のものもあります。

NO.	A	B	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
様														
	ボタンホール	ボタンホール	直線縫い			ジグザグ縫い			まつり縫い	三点ジグザグ縫い	直線三重縫い	オーバーロックステッチ		
用途	ボタンホール	ボタンホール	直線縫い	ファスナーつけ		伸縮地用縫い	アップリケ	裁ち目かがり	まつり縫い	つくり縫い	薄地用裁ち目かがり	シャーリング	強化縫い	厚地・伸縮地用裁ち目かがり
押え	B		A	C		A		D	E	A	A		A	D
ページ	15~16		11~13		17	14	21	18	19	-	18	22	20	18

# 縫う準備をしましょう

## 1. 下糸を巻きしょう



**1** スプールキャップ

糸コマを差しこみ、スプールキャップをセットします。  
※糸コマとスプールキャップの間を、すこしあけます。

**2** ①の糸案内に糸を掛けます。  
“カチツ”と音がするまで手前に引いてください。

**3**

ポビン

下糸巻き軸

ポビンの穴に糸を入れ、下糸巻き軸に差しこみます。

**4**

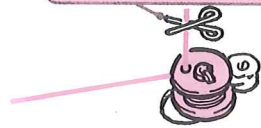
矢印の方向に押します。

**5**

糸端を持って、スタート/ストップボタンを押します。

6

少し巻いたあと、ミシンを一度止め、ボビンの穴から出ている糸を切ります。再び、スタートします。



7



8

糸を切り、下糸巻き軸を左にもどし、

ボビンをはずします。

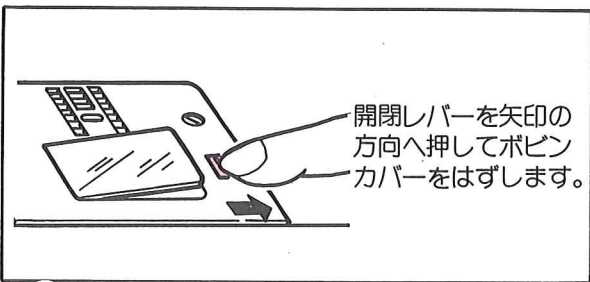


巻き終わるとボビンの回転は止まります。

巻き終わったらスタート/ストップボタンを押して止めます。

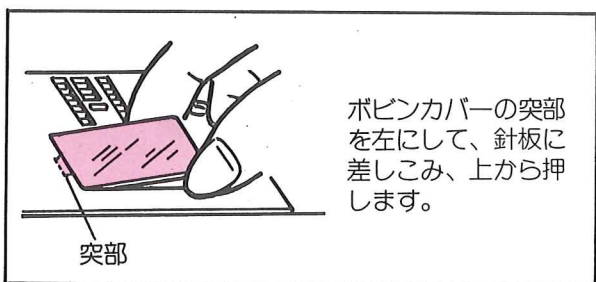
### ボビンカバーのはずしかたと、はめかた

はずしかた



開閉レバーを矢印の方向へ押してボビンカバーをはずします。

はめかた

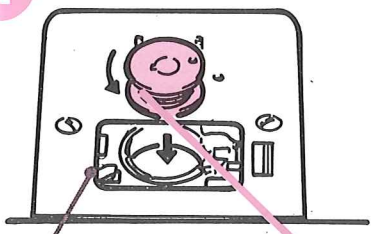


ボビンカバーの突部を左にして、針板に差しこみ、上から押します。

突部

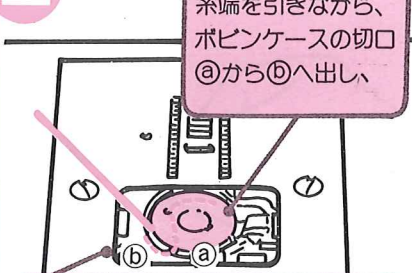
### ボビンのセット

1



下糸の巻き方向を矢印のようにして、ボビンを入れます。

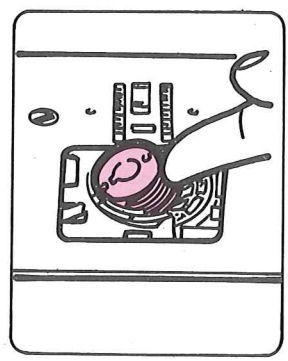
2



糸端を引きながら、ボビンケースの切口①から②へ出し、

ボビンが回り出すまで矢印の方向へ糸を15cm程引きます。

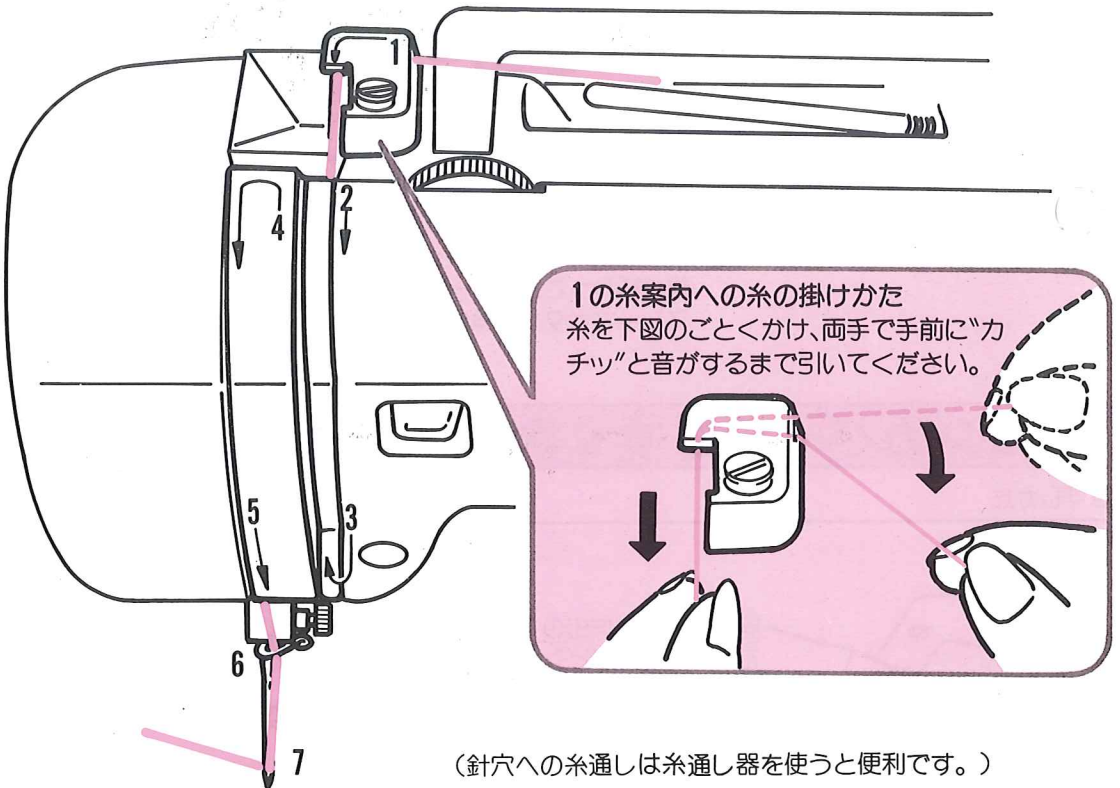
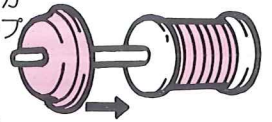
■ボビンの取り出しかた



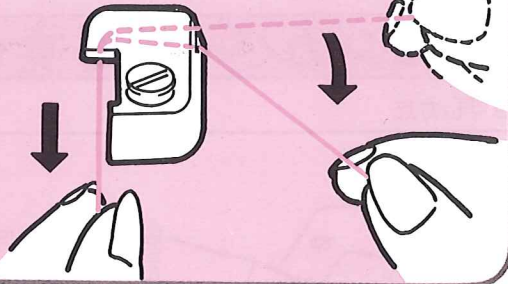
## 2. 上糸を掛けましょう

- ♥ 押えを必ず上げましょう
- 1~6の順に糸を掛け、
- 7の針穴に糸を通します。

- 糸コマを差しこんでから、スプールキャップを差しこみます。
- ※ 糸コマとスプールキャップの間を少しあけます。



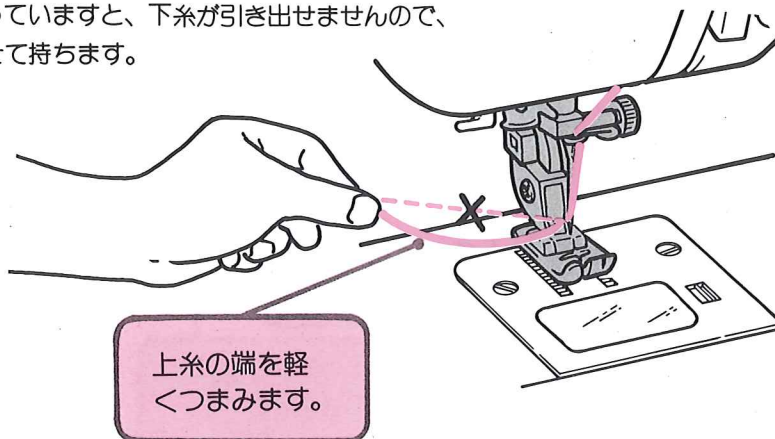
1の糸案内への糸の掛けかた  
糸を下図のごとくかけ、両手で手前に“カチッ”と音がするまで引いてください。



(針穴への糸通しは糸通し器を使うと便利です。)

## 3. 下糸を引き出しましょう

- ♥ 糸を張っていると、下糸が引き出せませんので、たるませて持ちます。



上糸の端を軽くつまみます。

## ●糸通し器の使いかた

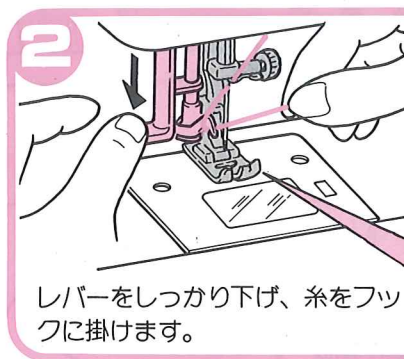
機種によってついていないものがあります。

糸がうまく引き出せない場合は、もう一度同じ操作をくり返して下さい。

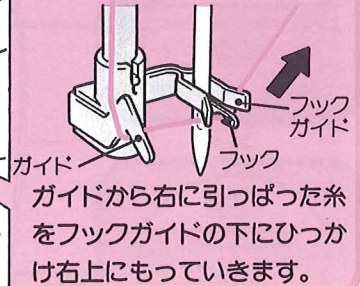
針の取り付けがまちがっていると糸を通すことはできません。(P. 4参照)

### ■糸通し器を使う前に…

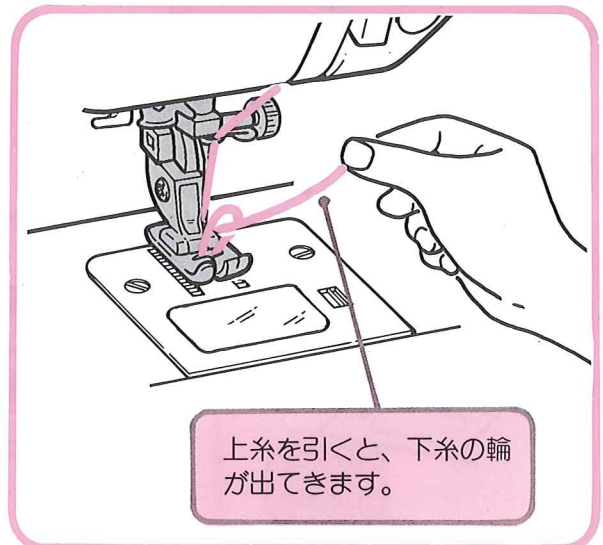
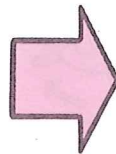
- 針棒糸掛けまで糸を掛け、糸を15cm程引き出しておきます。
- プーリーを手前に回し、針をいちばん上に上げます。
- 押え上げレバーを下げます。



### フックに掛けるコツ!

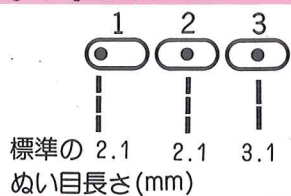


プーリーをゆっくりと手前に一回転させ、針をいちばん上にします。



# 縫ってみましょう①基本編

## 1. 直線縫い



- ミシンを図のようにセットします。
- ①～⑤の順番に縫います。
- ♥返し縫いをする場合は、P. 13をごらんください。

自動  
よわい ← ・ → つよい  
糸調子  
自動 にセット

又は

標準  
よわい ← ・ → つよい  
糸調子  
標準 にセット

ジグザグ押えを  
セット

2 スタート  
します。

1 布地を入れ、針を  
縫う位置に落とし、  
押え上げレバーを  
下げます。

模様選択ダイヤルを○  
または○にセット

標準  
めい目の長さ  
標準にセット

布地に軽く手を添えます。

縫い終わったら...

3

ストップ  
します。

4

押え上げレバ  
ーを上げ、  
布地を取り  
出します。

5

糸を糸切りに掛  
け、下へ引いて  
切ります。



# 針と糸と布地の関係

- ♥ 上糸と下糸は、なるべく同じ種類のものをお使いください。
- ♥ 伸縮性の布地の縫い合わせの時には、ボールポイント針をお使いください。

♥ 厚地やデニムは、デニム針を使用すると縫いやすくなります。

♥ 9番の針は、細く弱いため、布や糸を無理に引っばったりしますと曲がったり、折れたりすることがありますのでご注意ください。

\* 付属品にない針は家庭用ミシン針とご指定のうえ、お買い求めください。

■ きれいに縫うために、下表を参考にしてください。

布地の種類	針の番号	糸の番号
薄地 オーガンディー、ローン、 ジョーゼット、タフタ、 絹クレープなど	65/9番 ↓ 75/11番	綿80~100番 絹80番 化繊糸90番
普通地 ギンガム、リンネル、 ジャージー、サテン、 サラサ木綿、綿ギャバジン、 一般服地など	75/11番 ↓ 90/14番	綿60~80番 絹50~80番 化繊糸50~60番
厚地 ツイード、デニム、 カーテン地、コートユロイ、 オーバーコート地など	100/16番	綿40~50番 絹50番 化繊糸30~50番

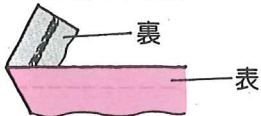
## 正しい糸調子とは...

● 上糸調子ダイヤルを自動に、セットしても糸調子が合わない場合は.....



・上糸と下糸が布の真ん中で交差し、糸のたるみ、布ゆわいのない状態をいいます。

③ 布地の裏側の糸が図のようになってしまった場合



・上糸が正しく掛けられていません。

布地の表面が図のようになってしまった場合



● ボビンがボビンケースにしっかり入っていません → P8

① 上糸がつれている場合

弱くする



・上糸の調子が強すぎます。

矢印の方向に回してください。

② 上糸がたるんでいる場合

強くする



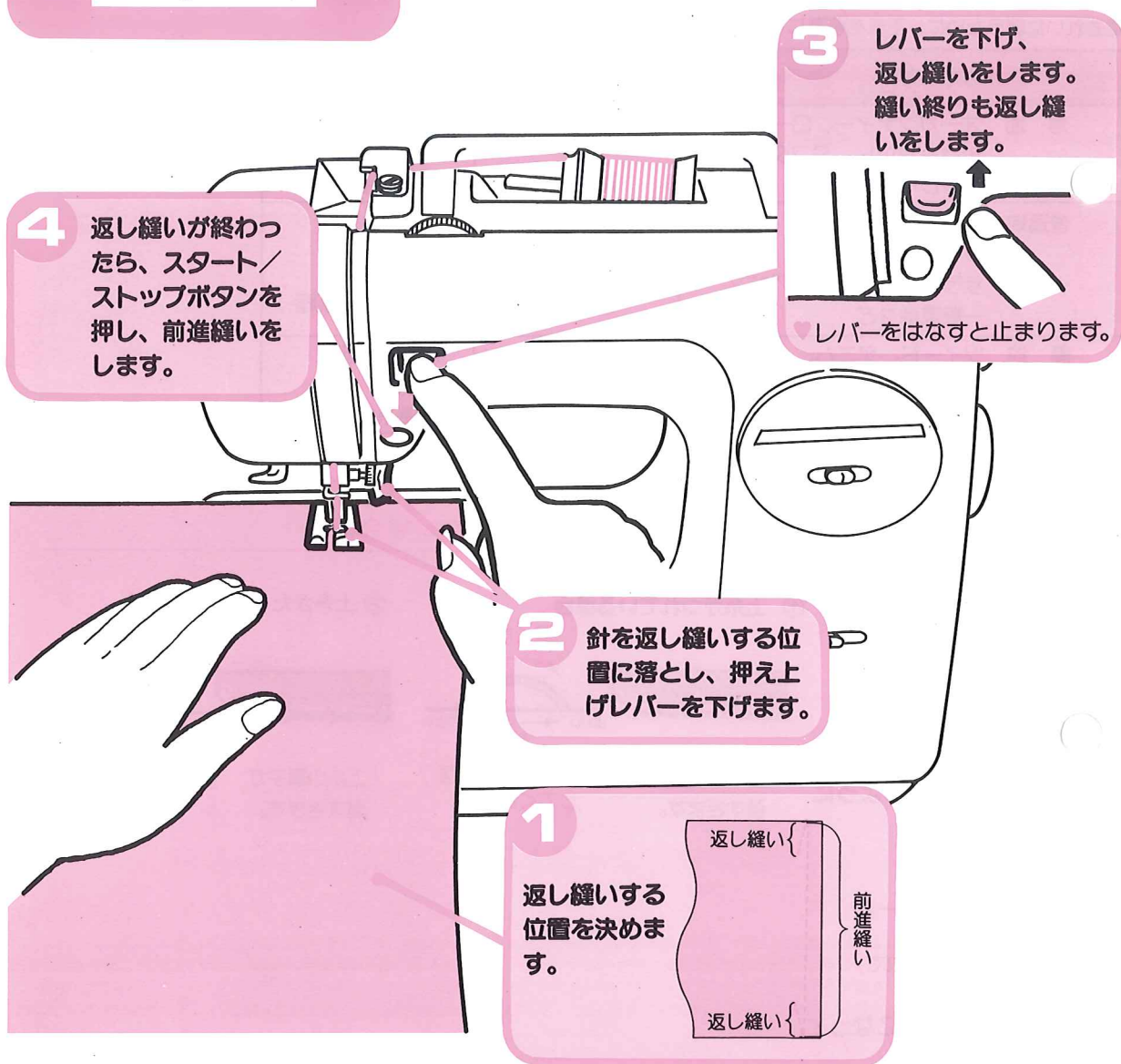
・上糸の調子が弱すぎます。

矢印の方向に回してください。

## 2. 返し縫い



■縫い目がほつれないように、縫い始めと縫い終わりに返し縫いをしましょう。

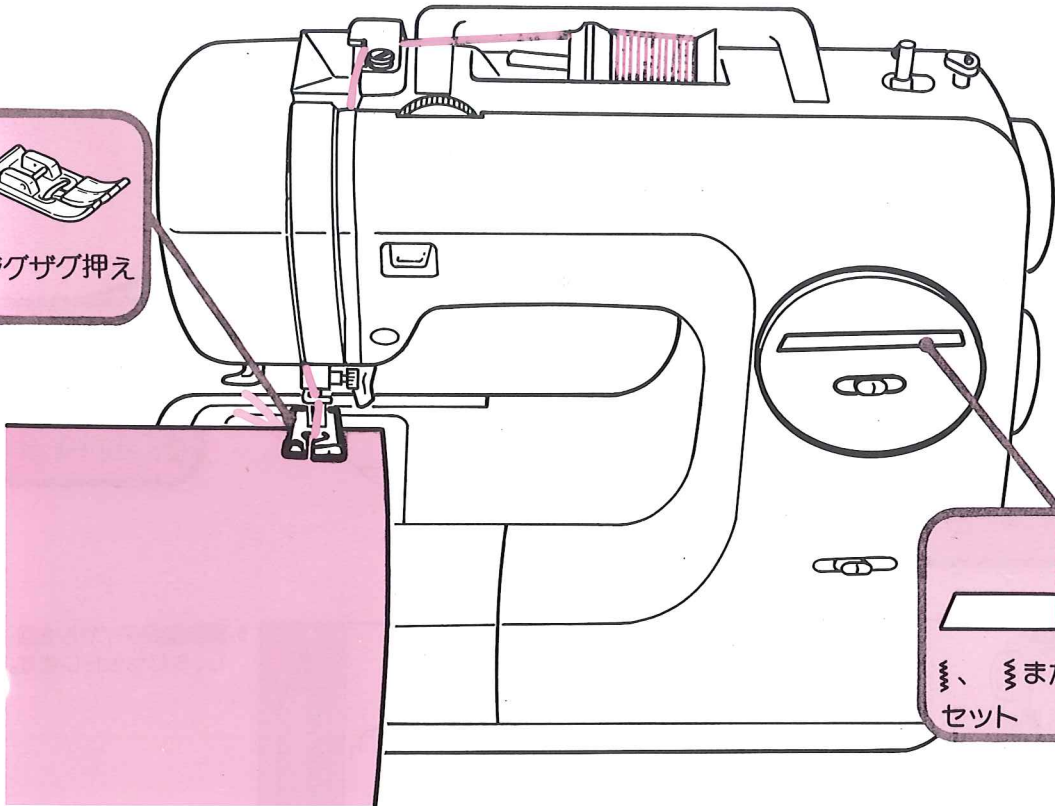
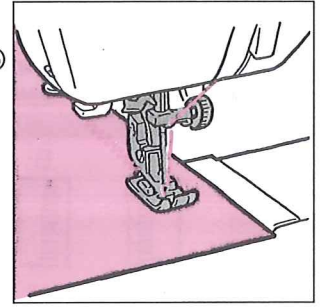


- ♥ 返しぬいレバーを下げている間だけ返し縫いができます。
- ♥ 返しぬいレバーをはなすとミシンは止まります。
- ♥ 返し縫いの間は、縫い速度はゆっくりになっています。

### 3. ジグザグ縫い

	4	5	6
振り幅(mm)	1	2.5	4
標準のぬい目長さ(mm)	0.6	1.5	2

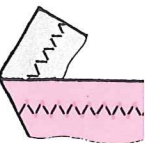
- ミシンを下図のようにセットします。
- 縫いかたは、P.11「直線縫い」の①～⑥と同じ要領で縫います。



#### 糸調子が合わないときは…

♥ 上糸を少し弱くして下糸が布上に出ないようにすると、美しく仕上がります。

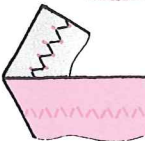
■ 上糸がつれている場合



弱くする 矢印の方向に回してください。



■ 上糸がたるんでいる場合



強くする 矢印の方向に回してください。



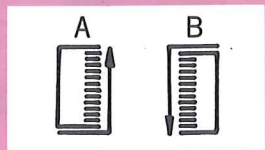
#### ■ 送り微調節範囲

針位置	振り幅	送り量		
		標準値	あらい	こまかい
	1.0	0.6	0.8	0.4
	2.5	1.5	2.0	1.0
	4.0	2.0	2.6	1.4

♥ 送り微調整は標準値に対して、±30%の範囲で調節可能です。

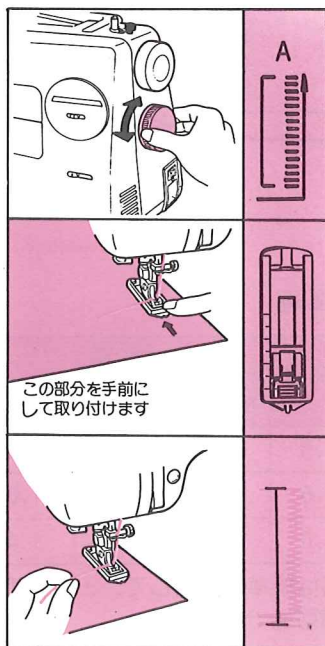
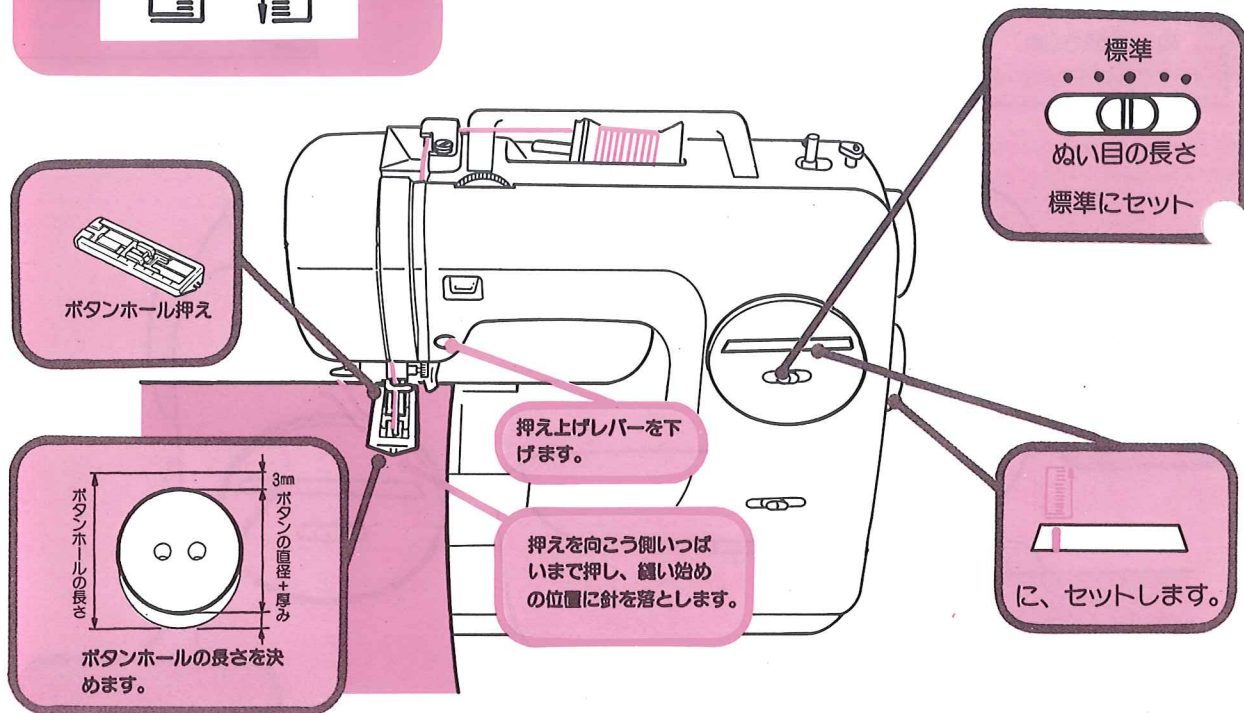
# 縫ってみましょう② 応用編

## 1. ボタンホール



■ミシンを下図のようにセットします。

■1～7の順番に縫います。

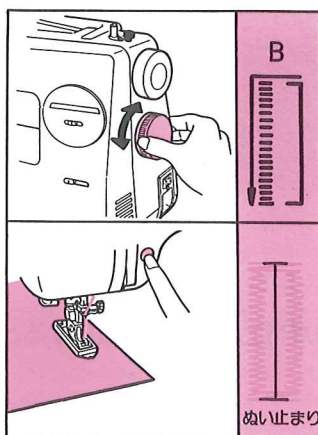


1. ボタン穴かがりはA→Bの順に行いますので、模様選択ダイヤルを回し、Aにセットします。

2. ボタン穴かがり押えをセットし、布地を入れ、押えを押しながら布地のしるしに押えのしるしを合わせて、押えを下げます。

3. 上糸を持ってスタートします。

4. 布地のしるしに合わせて止めます。



5. 模様選択ダイヤルを回し、Bにセットします。

6. スタートします。

7. 縫い始めの位置まで縫つたら、止めます。

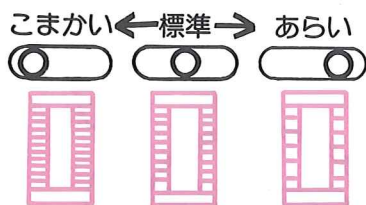
- 芯地（不織布など）を貼り、布を補強して縫います。（特に、伸縮地、及び薄地の場合）
- 押しに表示してある赤い目盛りを目安にボタンホールの長さを決めておくとう便利です。

## ボタンホールを失敗したとき

失敗した位置に関係なく、縫った糸を全部ほどいて、最初から縫い直します。  
ただし、A(↑)の位置の途中で失敗した場合は、次の操作を行ってください。

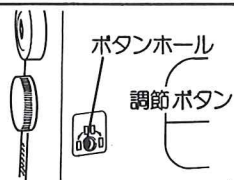
1. 針から糸をはずし、B(↓)の模様を選択し10針程、針を動かします。
2. 再びA(↑)の模様を選択し、針に糸を通し、ボタンホールを最初から縫います。

## 縫い目をこまかく、又はあらくしたいとき

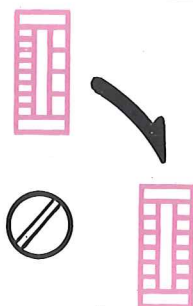


## 左右の縫い目差を調節する場合

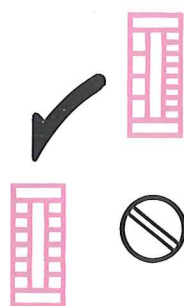
布の種類によってボタンホールの左右縫い目差がでます、この場合ミシンの背面にあるボタンを調節することにより目差をなくすことができます。



- ボタンホールの右の縫い目が左へくらべて粗い場合、ボタンを右へ回してください。



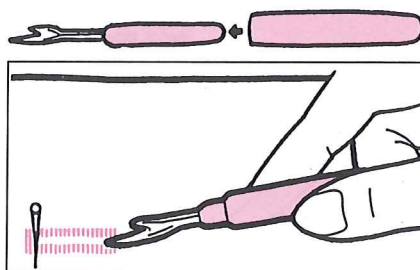
- ボタンホールの左側が右にくらべて粗い場合、ボタンを左へ回してください。



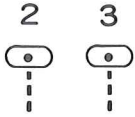
## ■ ボタンホールのカット

付属のリッパーを使い、縫い目を切らないように中央を切り開きます。

- ♥ まち針をかんぬき止め部に差しおくと、リッパーでの切り込みすぎを防ぎます。



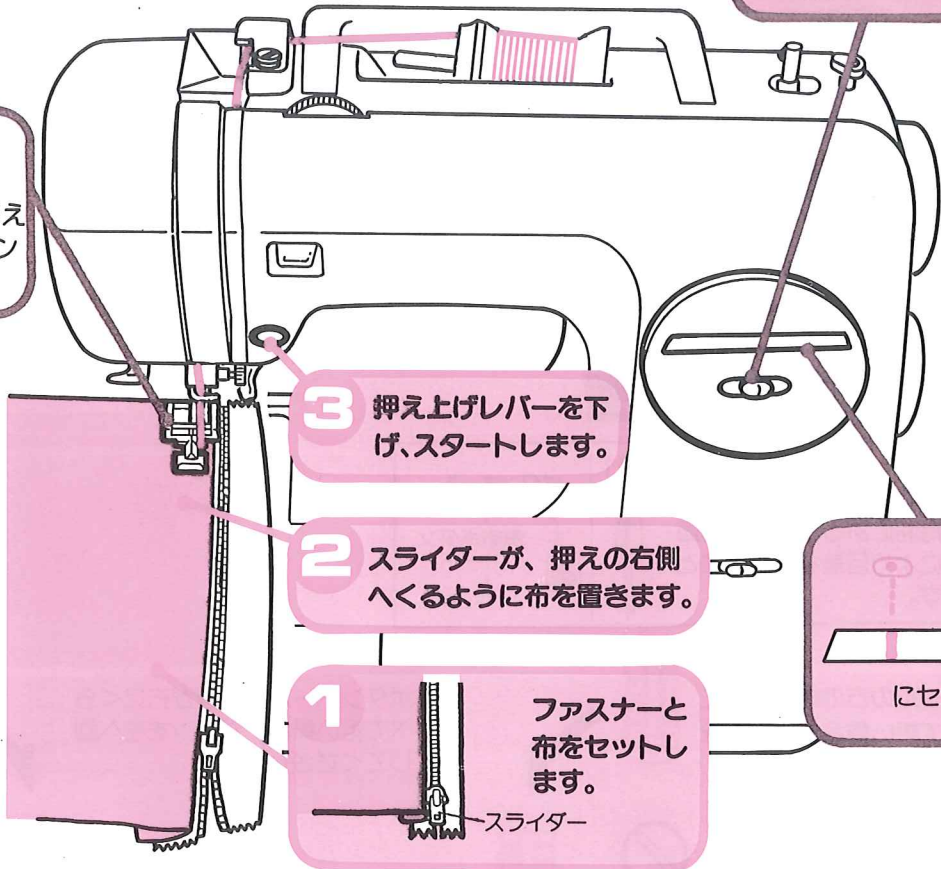
## 2. ファスナーつけ



- ミシンを図のようにセットします。
- ①～⑤の順番に縫います。

標準  
ぬい目の長さ  
標準にセット

ファスナー押え  
を右側のピン  
にセット



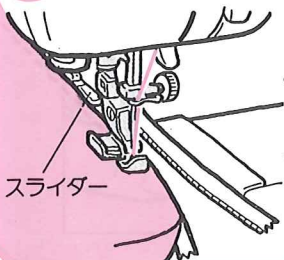
3 押え上げレバーを下  
げ、スタートします。

2 スライダーが、押えの右側  
へくるように布を置きます。

1 ファスナーと  
布をセットし  
ます。  
スライダー

にセット

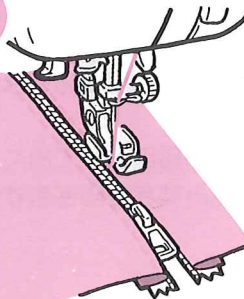
4



スライダー

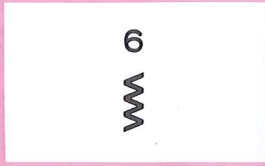
- ・押えがスライダーにあたる手前で、ミシンを止めます。
- ・針を布に落とし、押え上げレバーを上げます。
- ・スライダーを押えの後ろ側に移動させて、残りを縫います。

5



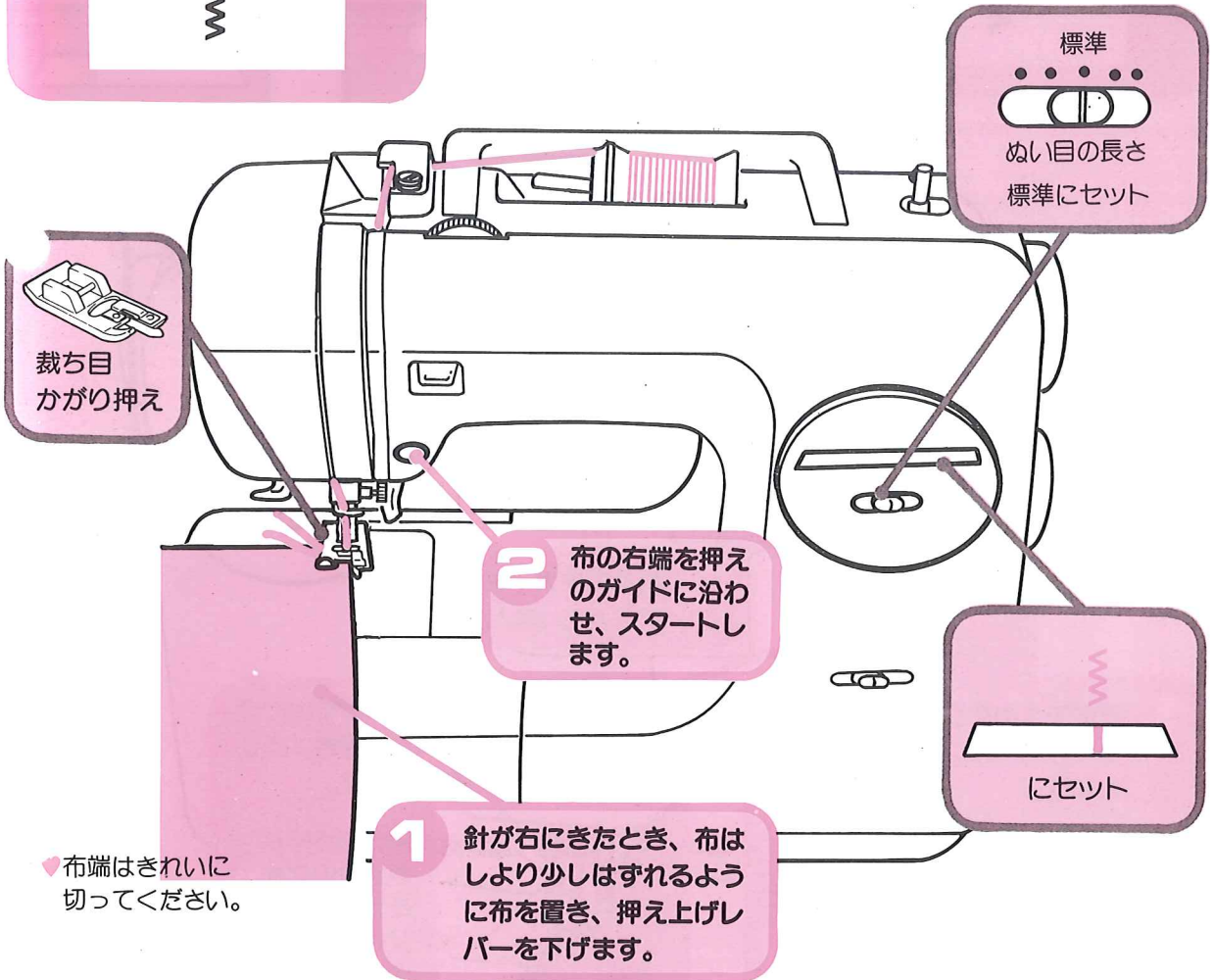
- ・押えを左側のピンにセットしなおします。
- ・①～④と同じ要領で右側を縫っていきます。

### 3. 裁ち目かがり



- 布の裁ち目をかがります。
- ミシンを図のようにセットします。
- ①～②の順番に縫います。

♥薄地、厚地・伸縮地の裁ち目かがりについては、下の表をご覧ください。（ $\xi$ は普通地に適しています。）



♥布端はきれいに切ってください。

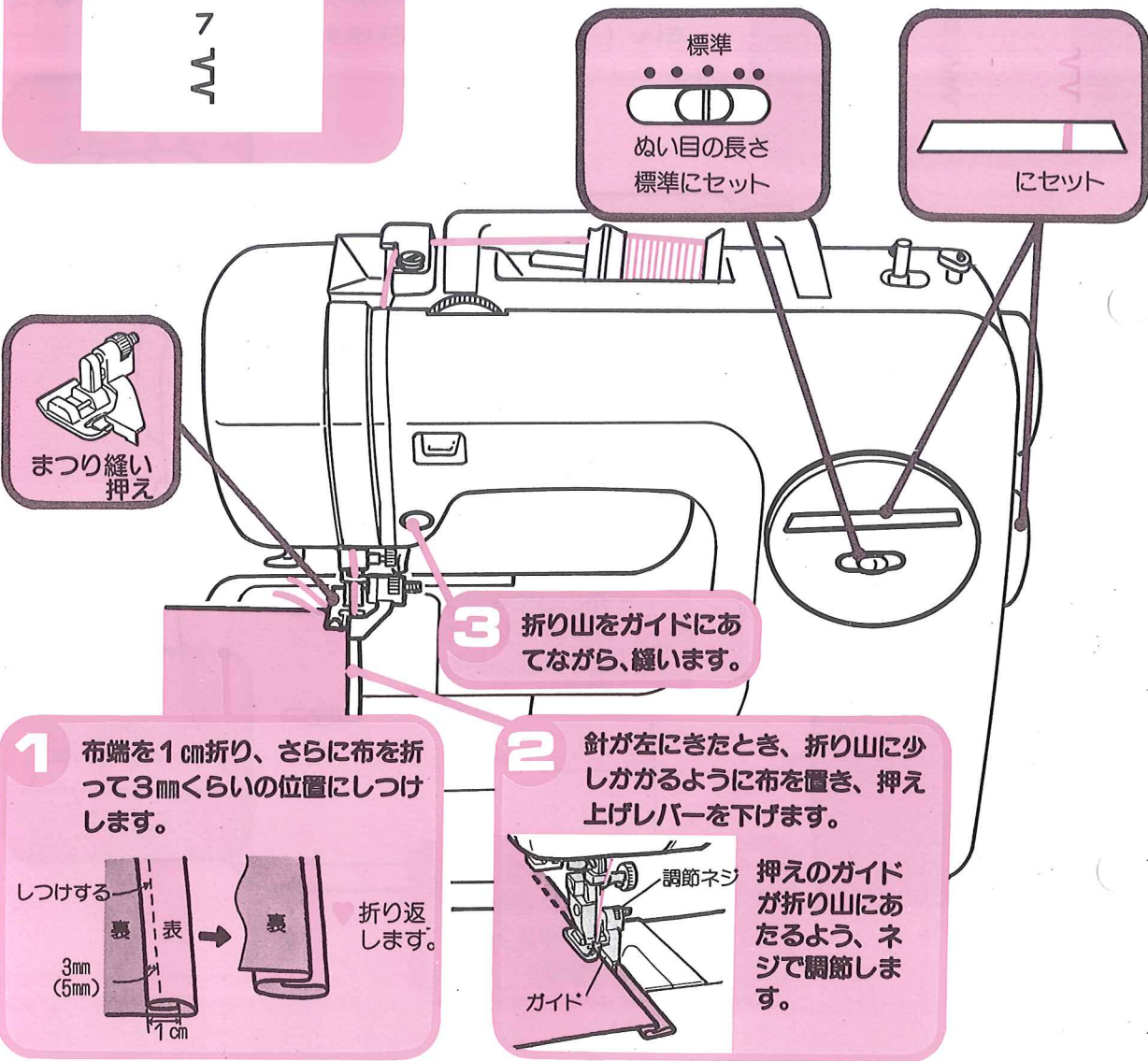
#### ■薄地、厚地・伸縮地の裁ち目かがり

	模様	押え	針	縫いかた
薄地	8 	 ジグザグ押え	ボールポイント針 普通針#11	♥針が右にきたとき、布はしより少しはずれるように布を置き、縫っていきます。
厚地 伸縮地	10  キルティング地や ジャージーに適しています。	 裁ち目かがり押え	ボールポイント針 普通針#16	♥上記した①～②の順番で縫います。

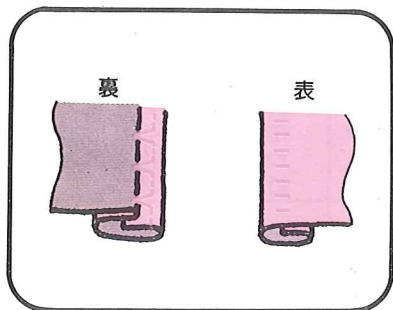
# 4.まつり縫い



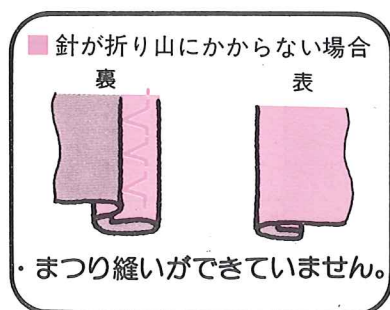
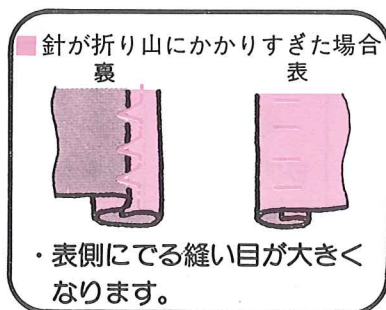
- スカートやズボンの裾・袖口、袋物の口などをまつるのに使います。
- ミシンを図のようにセットします。
- ①～③の順番に縫います。



正しい縫い目とは…



こんなときは…



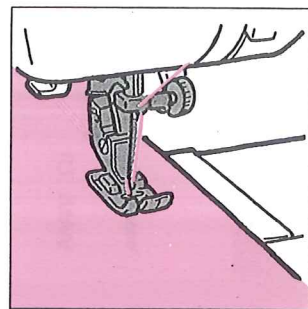


## 5. 強化縫い

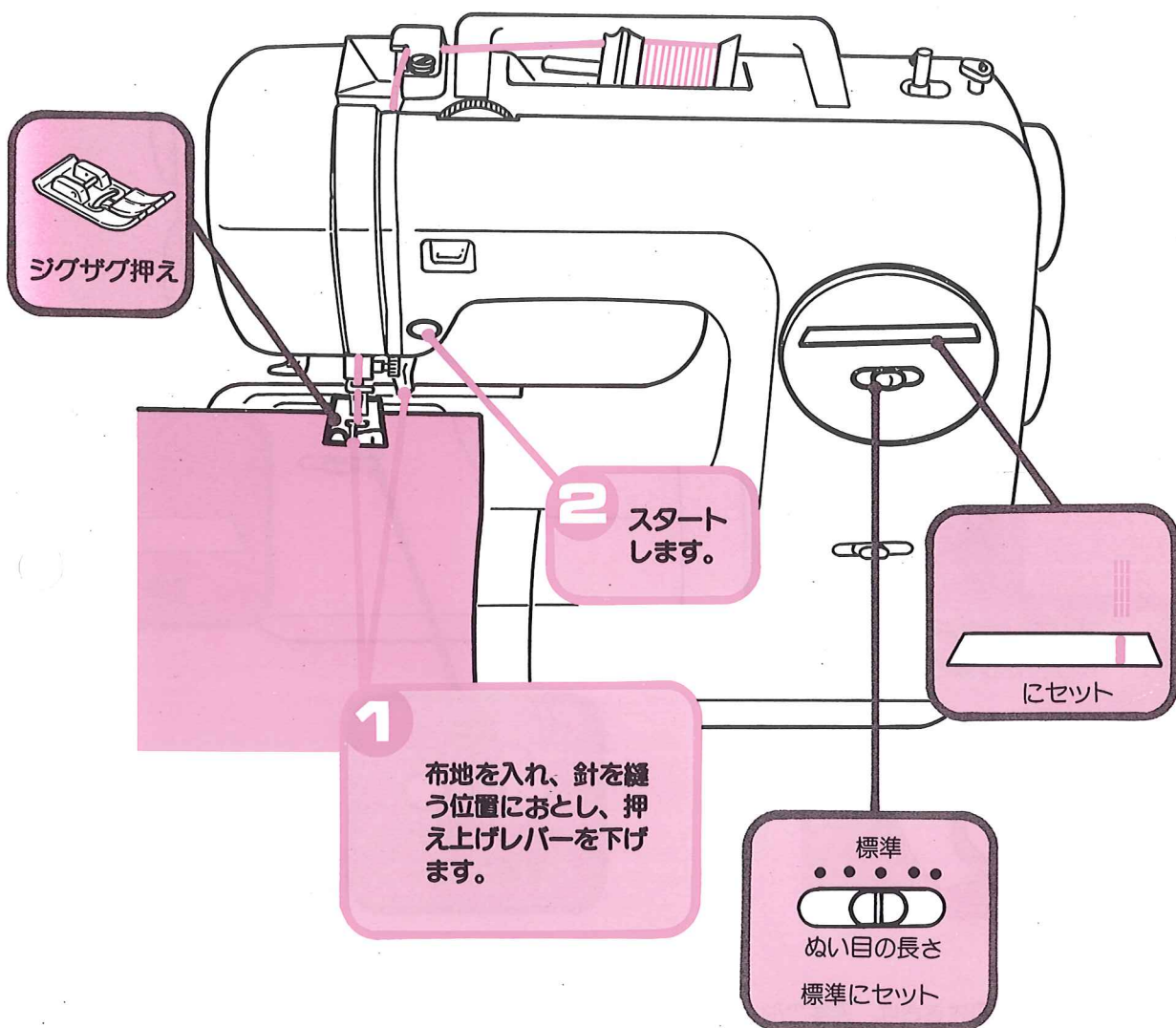
9



- そでつけやズボンの股上など、ほころびやすいところに使います。
- ミシンを図のようにセットします。
- ①～②の順番に縫います。



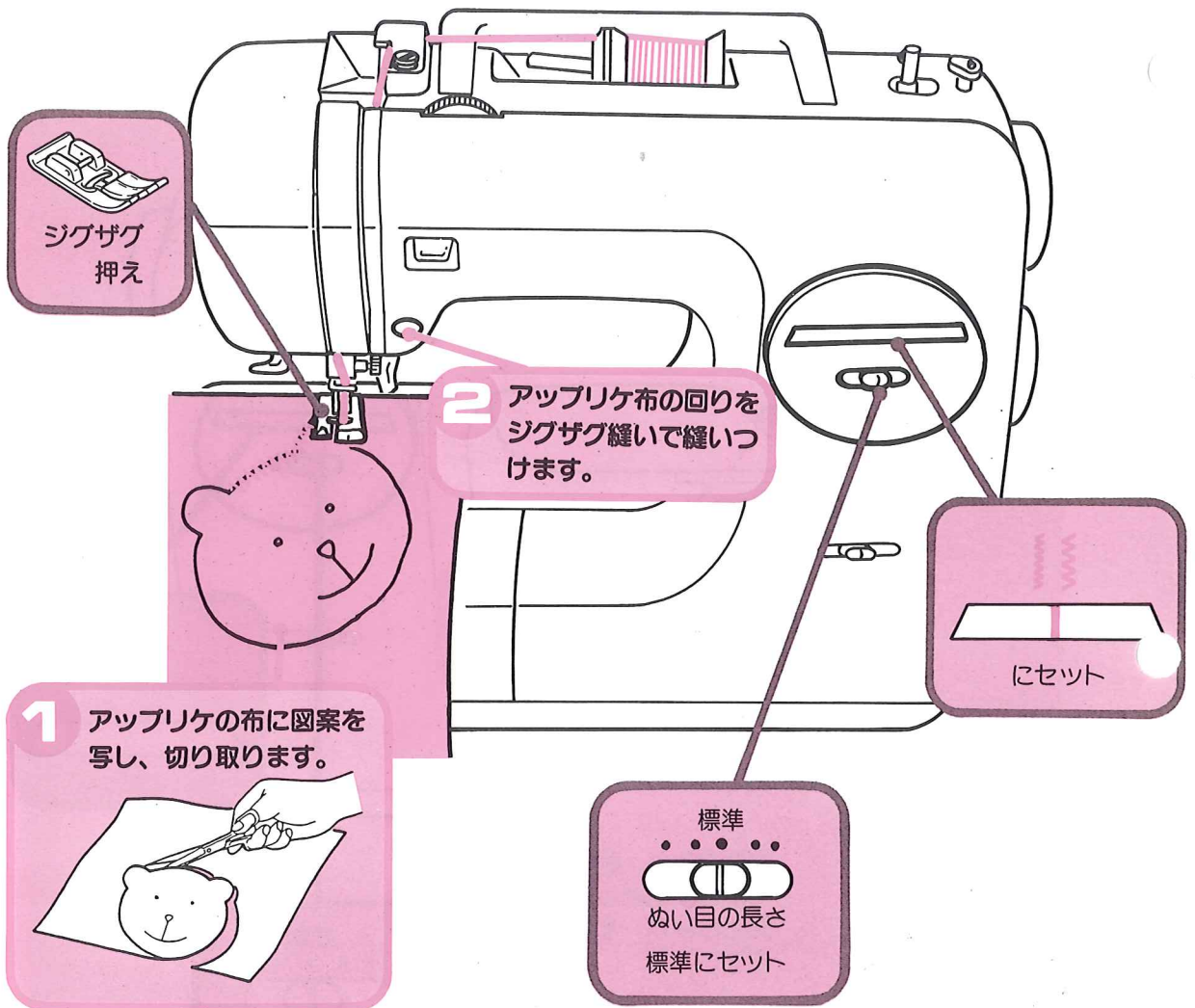
- 伸縮性のある布地に適しています。
- ボールポイント針をしますとさらにきれいに縫えます。



## 6. アププリケ

4 5  
~~~~~  
~~~~~

- アププリケ用の布を好みの図案に切り、別の布の上に縫いつけます。
- ミシンを図のようにセットします。
- ①～②の順番に縫います。

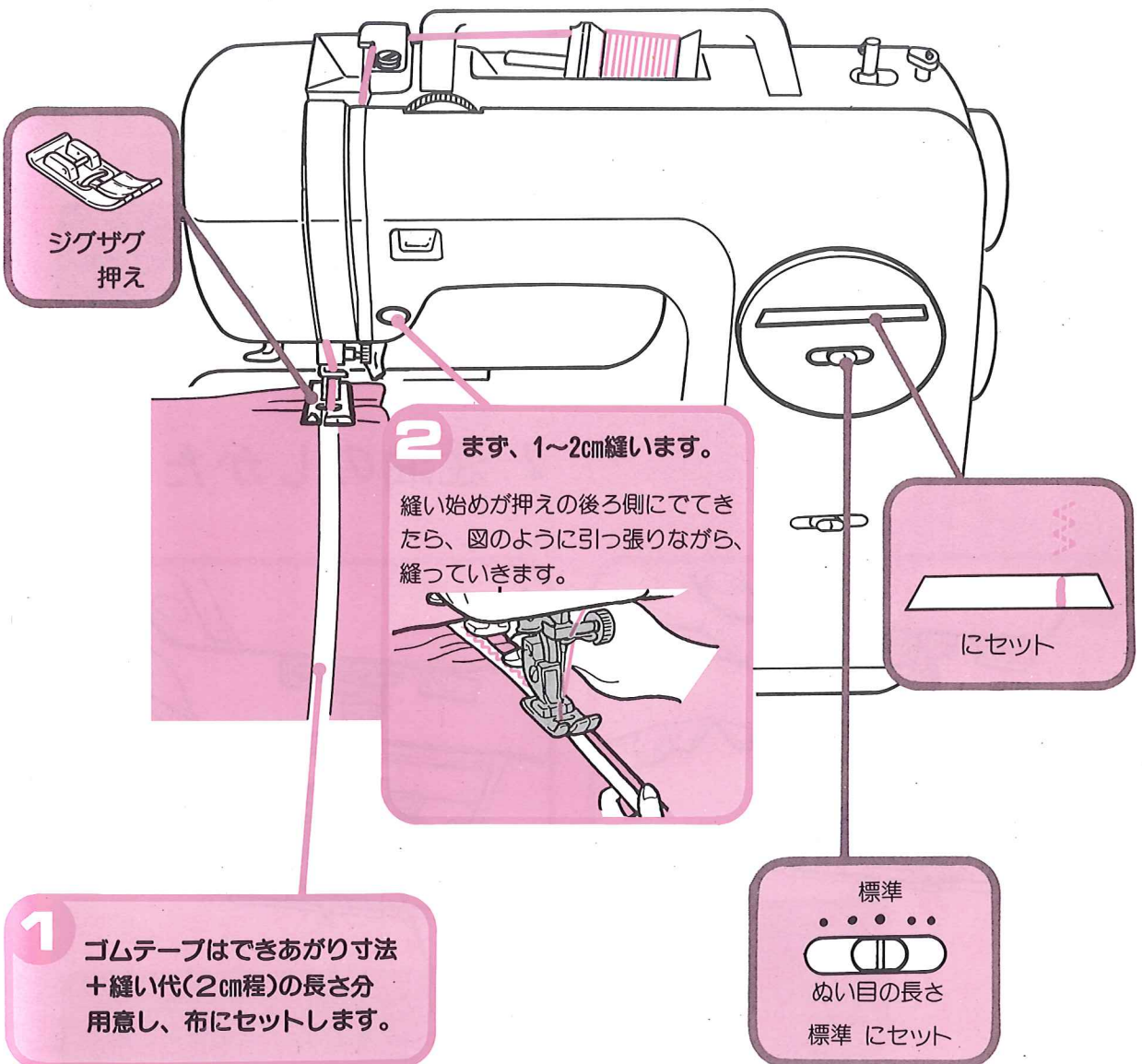


- ♥ ジグザグ縫いの大きさは、図案の形、大きさ、材質に応じて選びます。
- ♥ アププリケ布は布地からずれないように、しつけまたは布用ボンドで軽く止めておきます。
- ♥ 縫い方向を変える場合は、アププリケ布の外側に針を落とし、押えを上げ、布を回します。

# 7. シャーリング

8  
W

- シャーリング用ゴムテープ(専用)を伸ばしながら縫ってシャーリングをします。
- 袖口、ウエストまたは、スモッキングなど、デザインとして使います。
- ミシンを図のようにセットします。
- ①～②の順番に縫います。



**1** ゴムテープはできあがり寸法 + 縫い代(2cm程)の長さ分用意し、布にセットします。

**2** まず、1~2cm縫います。  
縫い始めが押えの後ろ側にてできたら、図のように引っ張りながら、縫っていきます。

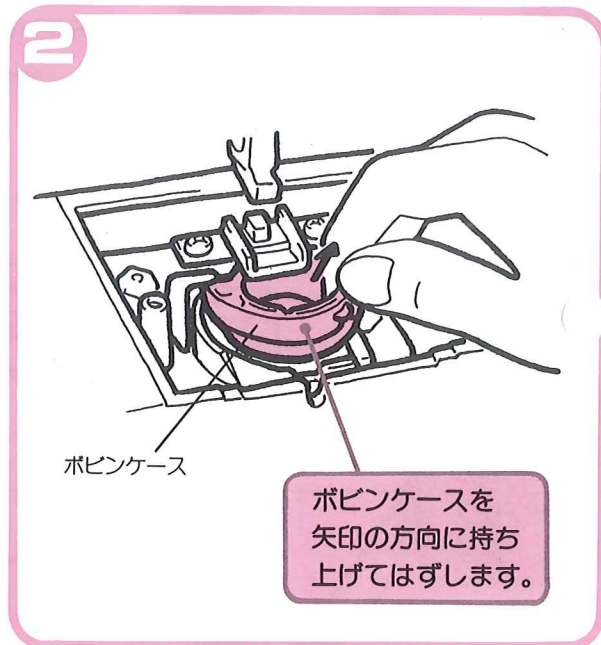
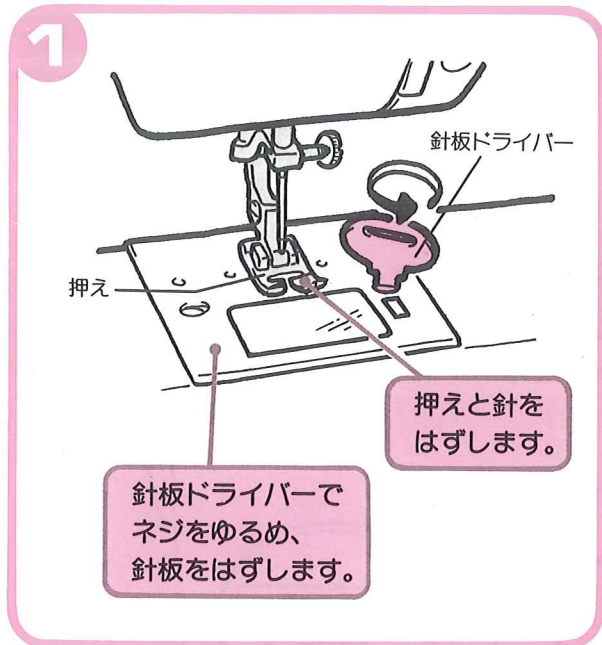
標準  
ぬい目の長さ  
標準にセット

にセット

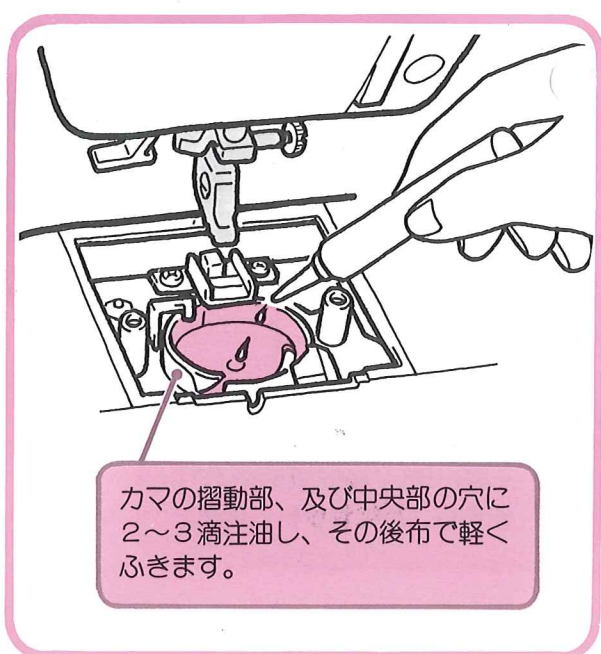
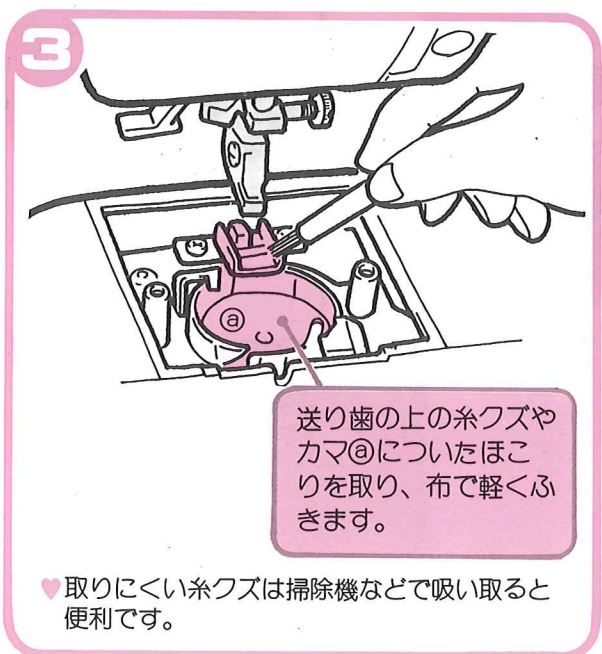
# ミシンのお手入れ

## 1. 送り歯とカマのお手入れ

♥ ポビンケースやカマに糸がからんだときも、次の順序でポビンケースを取りはずし、糸を取り除いてください。



## 2. 注油のしかた



■ミシンをいつまでも調子良くお使いいただくために、お手入れを定期的に行ってください。

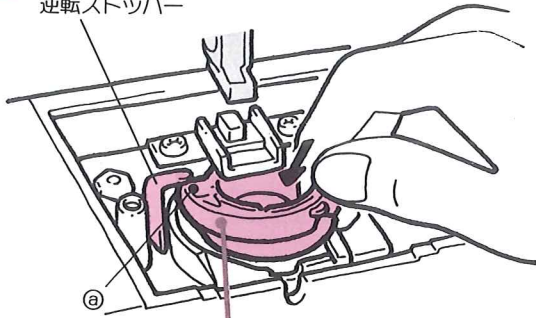
■お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

何かのはずみで電源が入った時危険です。

### 3. ボビンケースのはめかた

1

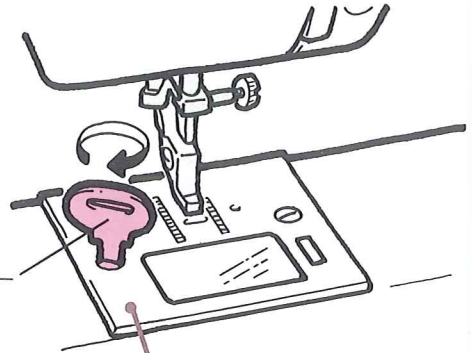
逆転ストッパー



逆転ストッパーにボビンケースのa部が当たるように、右方向から取りつけます。

2

針板  
ドライバー



針板を取りつけます。

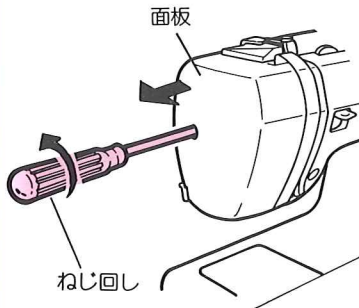
### 4. ランプの交換

♥ ランプは販売店でお買い求めください。

♥ 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

1

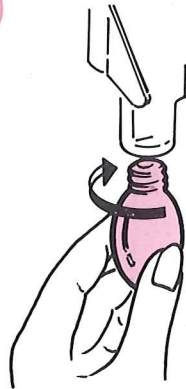
面板



ねじ回し

電源スイッチを切ります。  
面板のネジをゆるめ、面板を矢印の方向へはずします。

2



ランプは矢印の方向に回して取り外します。新しいランプは、逆方向に回して取り付けます。

3



案内棒

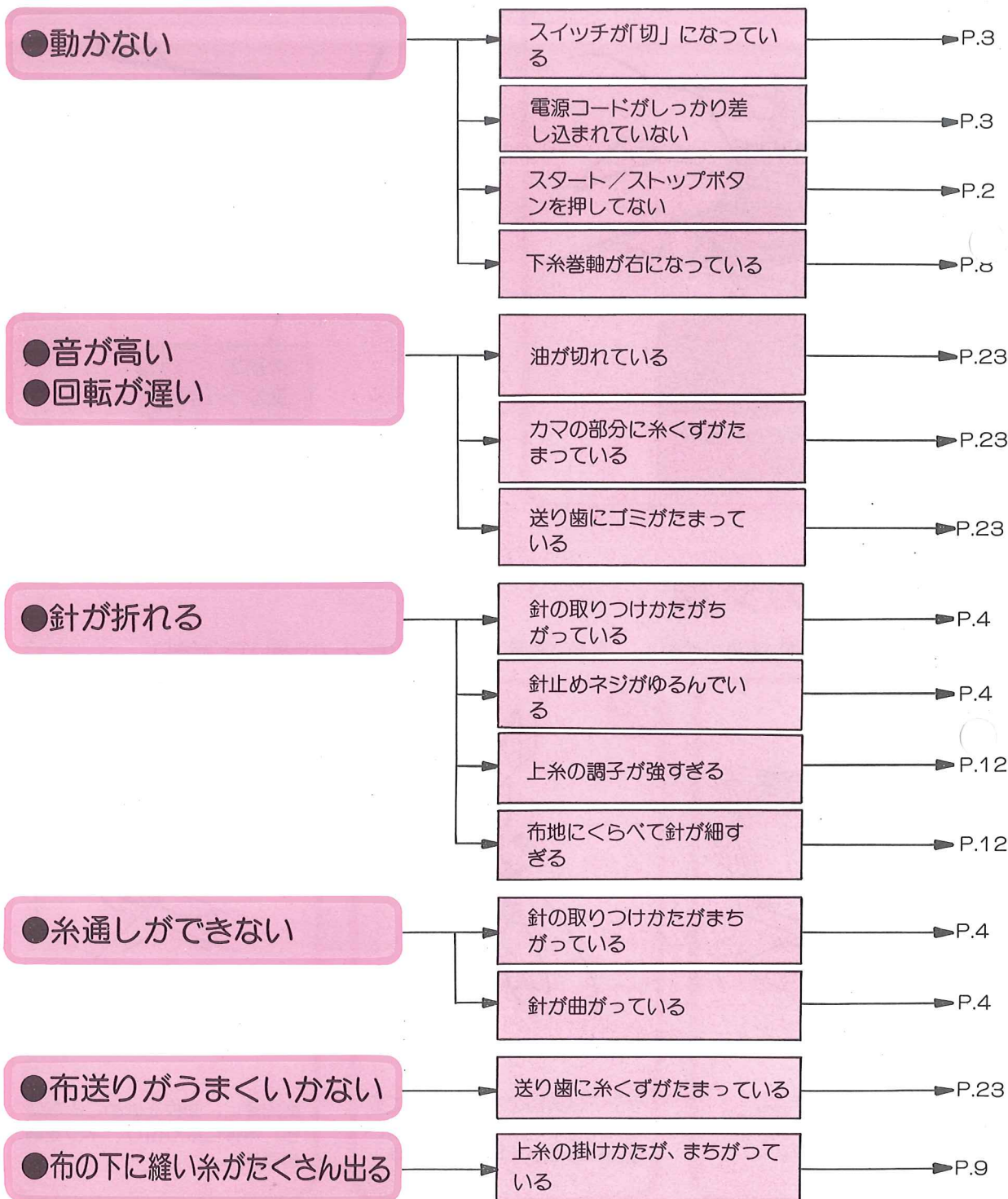
案内棒に、面板をはめこみながら、本体に取り付け、ネジを締めます。

# ミシンの調子が悪いとき

■まず次のことを確かめましょう。

## 現象

## 原因



確かめてもまだ調子が悪いときは販売店または保証書に記載のサービス網へお申しつけください。

## 現象

## 原因

### ●上糸が切れる

上糸の掛けかたがまちがっている

▶ P.9

糸がからみついている

▶ P.23

上糸の調子が強すぎる

▶ P.12

針が曲がっている  
針先がつぶれている

▶ P.4

針の取り付けかたがまちがっている

▶ P.4

### ●下糸が切れる

ボビンが正しくセットされていない

▶ P.8

### ●縫い目がとぶ ●下糸をすくわない

針の取り付けかたがまちがっている

▶ P.4

針が曲がっている

▶ P.4

布地に対して、針と糸があっていない

▶ P.12

上糸の掛けかたがまちがっている

▶ P.9

カマに油をさしすぎた

▶ P.23

### ●縫い目がしわになる

上糸の調子が強すぎる

▶ P.12

上糸、下糸の掛けかたまちがっている

▶ P.10

布地に比べて針が太すぎる

▶ P.12

# 仕様

釜タイプ	水平全回転釜
天ビン	スライド式天ビン
最大送り量 (標準)	4mm(3mm)
最大振幅	4mm
直線針基準位置	左、中基準
回転速度	最高：700回転/1分間 最低：150回転/1分間
ミシンの重さ	7kg (補助テーブルを除く)
ミシンのサイズ (ケースのみ)	幅 : 373mm (399mm) 奥行 : 156mm (180mm) 高さ : 283mm (277mm)
定格電圧	100 V (ボルト)
定格周波数	50-60HZ(ヘルツ)
定格消費電力 (白熱ランプ)	60W(ワット) 100 V (ボルト) 15W(ワット)
素材	アーム：アルミダイカスト フロントカバー：ABS 樹脂



# 修理サービスについて

## ●修理サービスのご相談

1. お買い求めのミシンには、購入店（保証責任者）から 無料修理保証書が発行されています。内容をお確かめのうえ大切に保存してください。
2. 修理サービスは、お買い求めのミシンを末永くご愛用いただけるよう無料修理保証期間内および経過後も、アフターサービスに万全を期していますので、購入店又は、保証書記載の販売サービス網へ遠慮なくご相談ください。

## ●修理部品の保有期間

1. 交換修理に必要な動力伝達機能部品および縫製機能部品は、通常、お買い求めの日から8年間を基準にして、当社において保有しています。
2. 修理部品は必要に応じて、当社より購入店に供給できるよう体制を整えております。

## ●無料修理保証期間経過後の修理サービス

1. 「お取扱いのしおり」に基づいて、正しいご使用とお手入れがされていれば無料修理保証期間を経過しても、修理部品保有期間中は購入店を通じて有料修理サービスをいたします。  
ただし、次のような場合は、有料でも修理できないときがありますので購入店へご相談ください。
  - (1) 浸水、冠水、火災等、天災地変により故障または損傷したとき。
  - (2) お買い求め後の移転または、輸送によって故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたって使用された場合、アフターサービスに万全を期しましても、新品同様の性能までに修理できないことがあります。
3. 有料サービスの場合の費用は、必要部品代、交通費および購入店が別に定める技術料の合計額になります。





- トヨタマシンについてのお問い合わせ、ご相談は、ご購入店のほか、下記の窓口でも承っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

### **アイシン家庭用機器販売株式会社**

〒450 名古屋市中村区名駅4丁目10番27号

☎ (052)582-8501

ファクシミリ (052)582-5910

### **アイシン精機株式会社**

〒448 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

☎フリーダイヤル 0120-24-8640

ファクシミリ 0566-24-9530